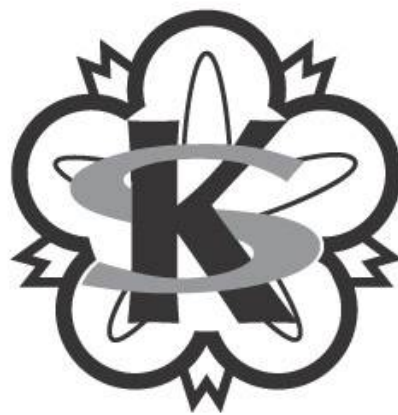


第3学年 小石川フィロソフィーⅢ

令和5年度 RL-Room 概要集

(Research Learning - Room)



2 ページをよく読んでおいてください。

RL-Room 開始までの流れ

4月14日（金）4時間目 RL-Room 説明会

- 1) 多目的ホールにて、各 RL-Room の説明を聞く。
- 2) RL-Room 希望調査を提出する。

4月17日（月）

- 3) RL-Room 別の第一希望人数を掲示するので、希望を変更する場合は「変更届」を提出する。

※第一希望を優先して調整します。定員を超過した場合は、第二から第五希望の RL-Room の中で、定員を超過していない RL-Room に割り当てを行います。定員を超過した RL-Room を希望している生徒は、予め希望を変更することができます。

※変更届 4月18日までに、職員室奥側ドア横の SSH ポストに投函

4月21日（金）4時間目

- 4) 多目的ホールにて、図書室のガイダンス等

4月28日（金）

- 5) 各 RL-Room の学習スタート

RL-Room 一覧

番号	担当	RL-Room 名	定員
1		近代文学研究（夏目漱石研究）	13 名
2		現代短歌	13 名
3		三大宗教とその周辺	13 名
4		小石川から始める多文化共生（実践編）	13 名
5		数学研究	26 名
6		自然科学・探究活動の基礎	26 名
7		体育・スポーツ	26 名
8		Let's Try English Drama!	13 名
9		SDGs 研究とディベート	13 名

自分用のメモ

第一希望

第二希望

第三希望

第四希望

第五希望

※ できるだけ希望に添えるように調整しますが、第五希望まで記入してください。

記入がなかったり、同じ番号を記入したりしている場合は、一任とみなします。

番号	RL-Room	担当	人数
1	近代文学研究（夏目漱石研究）		13 名
内 容（目標、進め方など）			
文豪夏目漱石は「いかに生きるか」を自らに追求した人物であった。漱石が亡くなる 2 年前（大正 3 年）に学習院大学で講演した内容、「私の個人主義」から「エゴイズム」とは何であるか、そこからの脱却、「真の自由」とは何であるかを考察していく。自分らしく生きるとはどういうことかを考え、自らの生き方へと導き出す講座である。 15 歳という年齢で一度自らのこれまでを振り返り、これからの長い人生で社会に出て仕事をしながら自己実現していくための方法論を考察していくものである。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
・「自分」ときちんと向き合う姿勢を持つこと。 ・哲学的なものの捉え方を柔軟に受け入れること。 ・批判的精神を持つこと。 ・12 月末に<u>レポートの提出必須</u>。 ・漱石『私の個人主義』は<u>必ず購入</u>し、毎時間必ず持参すること。（文庫本でよい） ・積極的に漱石の小説を読むこと。テーマ以外の漱石作品については図書館などを利用して読むこと。 （必ずしも購入しなくてもよい）			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
夏目漱石『私の個人主義』（講談社学術文庫）など、このテーマが入っている文庫本を購入しておくこと。（電子書籍は不可） 初回授業の持ち物：『私の個人主義』本・筆記用具・フィロⅢノート・国語辞典（電子辞書不可）・資料を入れるためのファイル（A4 クリアファイルなどでよい）			
費用（見込み）			
書籍購入費：726 円（税込み）程度と思われる。（2022 年現在） 購入する書籍は『私の個人主義』だけでよい。その他のものは図書館などを利用するので構わない。その他、ファイルなど。指定はないので、自分で使いやすいものを準備しておくこと。			

番号	RL-Room	担当	人数
2	現代短歌		13 名
内 容（目標、進め方など）			
この講座では、歌集を編むことを目標とする。 1 学期前半：輪読による短歌の基礎理解・歌会 1 学期後半：現代短歌の代表歌人の短歌鑑賞・歌会 夏休み中：文芸コンクールに応募 2 学期前半：現代短歌の代表歌人の短歌鑑賞・プレバト短歌 2 学期後半：歌集に載せる歌を精選・プレバト短歌 3 学期：歌集提出・プレバト短歌 生徒作品例 数学の公式のない単元は種なしぶどうのような存在 正しさが自分であると荒川の対岸でふたり願いつづける ふるえてる 電球一つで安定が崩れてしまうそんな世界に 日陰にはなんか可愛い娘がいます。ですから僕は日向で待ちます。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
五感と語感の優れた生徒を歓迎します。歌会では渾身の一首が批判されることもあります。自分が否定されているのではなく、歌の出来具合の話と割り切って、他者のつつこみを面白がれるくらいがいいでしょう。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
筆記用具、紙の国語辞典、自分を表現できるノート			
費用（見込み）			
書籍購入費（¥1,500 前後の書籍を各自購入）			

番号	RL-Room	担当	人数
3	三大宗教とその周辺		13 名
内 容（目標、進め方など）			
・一学期は、キリスト教、イスラム教、仏教および日本人の宗教観の概要について講義を行う。 ・宗教についての概観を学習し基礎知識を得た上で、各自の関心に応じた調査・研究を行う。 ・全体での報告会以外にも、講座内で途中経過の報告・質疑応答を3回程度行う。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
・宗教についての予備知識は必要無いが、比較的難しい資料を読むことになるので、調査と挑戦が好きでなければ困る。 ・ほぼ毎時間、リアクションペーパー、相互評価票、発表レジュメなど、何らかの提出物を要求する。提出物の期限をきちんと守ることができなければいけない。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
昨年度までのレポートに目を通しておくこと良い。			
費用（見込み）			
特に無し			

番号	RL-Room	担当	人数
4	小石川から始める多文化共生（実践編）		13 名
内 容（目標、進め方など）			
多文化共生について、考えるだけでなく自分たちでできることを実践してみよう、というのが本講座の目的です。 まず、身近な「分かり合えていない現実」＝課題を探し、その原因を探ります。 次に、課題解決にむけて、歴史的な経緯を調べたり、当事者に問題意識をインタビューしたり、他国・他地域の事例に学んだりして、課題解決の方法を探ります。 そして、もっとも大事なことは、実際に多文化共生に向けたアクションをとる、というステップです。 自分たちで考えたアイデアを、実践してみて、結果を検証・考察し、次の実践へとつなげます。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
多文化共生について課題意識のある人、失敗にめげないメンタルの強い人、自分でアポをとったり訪問したりする行動力のある人、そして文研研究も苦でない人におすすめです。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
解決したい「分かり合えなさ」を考えておく。			
費用（見込み）			
交通費や書籍代は自費となります。			

番号	RL-Room	担当	人数
5	数学研究		26 名
内 容（目標、進め方など）			
数学には統計，解析，代数，幾何，折り紙，パズルなど魅力ある様々な内容があり、数学への興味，関心は人それぞれです。研究は個人でもグループでも構いませんが、この講座では研究テーマを設定して研究を進め、校内外でのポスター発表やパワーポイントを用いたプレゼンテーションの実施など、研究について必要なことを一通り経験します。なお、この講座では、既習事項や調べ学習レベルの研究内容は認めません。 1 学期は、研究テーマ決めへのヒントとなる問題に取り組みながら、研究したいテーマを決め、夏休み中に各自でその研究を進めます。 2 学期は、毎回の授業で研究成果についてパワーポイントを用いて発表し、各自の研究内容をさらに深めていきます。そして、12 月に東京都内 SSH 校発表会やマスフォーラム（数学生徒研究交流会）などで、全員がポスター発表を行います。 3 学期は、2 学期に取り組んだ研究を完成に向けて進め、3 月に実施するフィロⅢ校内発表会（パワーポイントによる発表）に向けて、研究のまとめを行います。 【参考（令和 4 年度研究テーマ）】 ○渋滞のメカニズム ○パロンドのパラドックス ○対向二輪型移動ロボットの制御 ○三角形でぶつかる少女 ○数独の多角形への拡張 ○円周の分割と線分の和 ○ビュフォンの針の拡張 ○$\sin x$ と 2 次・3 次関数の共通接線 ○FB が取れる確率と関係 ○キャラ 1 点狙い ○ホームラン ○オセロで勝てる石の置き方 ○ポイントごとの勝率におけるテニスの試合の勝率 ○卓球における戻るサーブの研究 ○火曜日に生まれた少女 ○タイル張り問題の拡張 ○混ざりやすいトランプの切り方 ○シャボン玉とボロノイ分割 ○4 人の囚人ゲームの平等性を突き詰める ○N 分割セグメントツリー ○ルーレットカジノの必勝法 ○オセロの全消しを簡単にできる方法 ○最短経路の問題の拡張			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
数学が好きで楽しめる気持ちがあり、主体的に研究に取り組み、地道に努力できる生徒を希望します。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
事前に研究したいテーマや内容をいくつか考えてくる。初回授業で、プリントに記入して提出してもらいます。 持ち物：筆記用具、フィロⅢノート、タブレット端末			
費用（見込み）			
無料			

番号	RL-Room	担当	人数
6	自然科学・探究活動の基礎		26名
内 容（目標、進め方など）			
自然科学の探究活動のために必要な技能の習得を目標に進めます。具体的には、研究テーマの設定、仮説の立て方・適切な検証方法の選択、実験計画の立案、統計処理（表計算ソフトの使用法）、魅せる発表の方法（プレゼンテーションソフトの使用法）、研究レポートの作成などについて、講義・演習・実習を行います。 共通講座で基礎的な技能を学んだあと、各自で研究テーマを設定し、個人研究（個人またはグループ）を行っていきます。講座内で中間報告、質疑応答等を行いながら、学年末の発表に向けて、研究内容をブラッシュアップさせていきます。今年度は、学年末の発表だけでなく、外部コンクール等への参加を目標にしていきます。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
・自分でテーマを設定して研究を進めていきますので、主体的に取り組む姿勢が必要不可欠です。 ・自然科学の研究は、週1回では時間が足りません。進行状況によっては、放課後や夏休み期間のオープンラボを利用して、研究を行うこともあります。 ・思うような結果が得られなくても、粘り強く研究に取り組める生徒を希望します。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
・図書館にある昨年度までの研究に目を通し、自分の研究したいテーマへのイメージを膨らませておいてください。			
費用（見込み）			
未定（各テーマによる）			

番号	RL-Room	担当	人数
7	体育・スポーツ		26名
内 容（目標、進め方など）			
「運動」を多角的に研究する講座です。まずはじめに「運動」を研究する方法について講義を行い、その後各自でテーマを設定し、研究に取り組んでいきます。研究内容や方法によって、授業時間以外に部活動の時間や夏休みなどを使ってデータを収集する活動が必要になります。（他の学年が体育の授業をやっている時間なので、この時間にできる実技的活動は制約があります。） 2学期後半からはまとめの活動に入り、論文作成や発表原稿作成、発表練習を行っていきます。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
自分でテーマを設定して研究を進めていくので、主体的に取り組む姿勢が必要不可欠です。 「この種目のスキルを上げる方法を知りたい」「部活のチーム力を向上させたい」「このスポーツについてもっと深く知りたい」など[体育・スポーツ]に関する何らかの問題意識を持っている人を希望します。 定員を超えた場合は、希望理由をもとに選考します。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
初回は筆記用具とフィロⅢノートのみ。			
費用（見込み）			
特になし。			

番号	RL-Room	担当	人数
8	Let's Try English Drama!		13 名
内 容（目標、進め方など）			
クラスメイトと協働し、ゼロから英語劇を創り上げる探求活動の講座です。ある程度の人数が集まれば中学校英語劇東京都大会に出場する予定です。都大会に向けて、脚本選び、脚本のリバイズ、練習計画の作成、衣装の作成、照明、音響等は自分たちで係分担をして計画・準備・練習をしてもらいます。役者としてではなく、照明や音響をやりたい人も参加OKです。 各学期に行うこと（予定） 1 学期 中間発表（授業担当者が用意した作品を 1 学期の終わりに上演） 2 学期 都大会に向けた練習（自分たちで選んだ作品を上演 本番は 12 月） 3 学期 成果発表会（自分たちで選んだ、またはオリジナルで作った作品を 3 学期の終わりに上演） * 最後に 1 年の探求活動を振り返り、英語でペーパーを書いてもらいます。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
英語の発音の綺麗さ、英語の得意不得意は問いません。チームの仲間と一緒に自分で考え、自分で行動し、オーディエンスに感動を与える芝居をゼロから作る熱意のある人を求めます（受け身の姿勢厳禁!）。都大会は 12 月の期末試験の少し前になる可能性が大きいです。勉強に差し支えないようにしますが、そのことを考慮して選択してください。また、都大会直前期は放課後の練習が入ることもあります。また、希望者が少ない場合は大会への参加ができない場合もあります。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
筆記用具			
費用（見込み）			
都大会会場への交通費（23 区内）			

番号	RL-Room	担当	人数
9	SDGs 研究とディベート		13 名
内 容（目標、進め方など）			
1 学期は SDGs に関するエッセイ（英語）を読み、Q&A を通して内容を把握しながら、Miles が提起したテーマに関し、英語でディベートをしながら考察を深める。2 学期以降も、同様に英語でディベートを行うが、同時に各自で研究テーマを設定しその研究にも取り組み始める。また、1 2 月に外部の中高一貫校ディベート大会への参加を検討している。3 学期は各自の研究論文を仕上げ、3 月の発表に向けて準備をする。			
希望生徒へ（生徒への注意点・要望・心構え、選考方法など）			
できるだけ英語を使って授業を進める。			
初回までに準備しておくこと（課題や持ち物など）			
英語の辞書、タブレット、ノート			
費用（見込み）			
書籍購入費 SDGs 英語長文 Core 825 円			